

〔科目名〕 公共経済学	〔単位数〕 4 単位	〔科目区分〕
〔担当者〕 青山 直人 Aoyama, Naoto	〔オフィス・アワー〕 時間: オフィス・アワーは授業の開始時に提示 場所: 研究室(530号室)	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 公共経済学は政府活動を分析対象とします。現代の政府活動は、産業政策(産業組織論)、金融政策(金融経済学)、労働政策(労働経済学)、貿易政策(国際経済学)、社会保障政策(社会保障論)、都市政策(地域経済学、都市経済学)、環境政策(環境経済学)など様々な分野にわたっています。それらの政策は、それぞれの応用経済学の分野が取り組んでいます。その中で、公共経済学は、政府の様々な経済活動に共通する要素を抽出し、一般的に分析します。 皆さんがこれまでに学習したように、経済学では希少資源について選択(意思決定)の問題を考えます。公共経済学では、希少な資源の利用に関して「何が(公共財か私的財か)、どのような方法で(公共部門か民間部門か)、誰のために(分配の問題)生産されるべきか、どのように意思決定されるか」を問題とします。公共部門におけるこの問題を考えるためには、公共部門の役割と活動評価、公共部門の意思決定の基礎となっている政治過程を考察する必要があり、このことが公共経済学の分析領域となります。本講義では、「公共部門の役割」、「公共部門の活動評価」、「公共部門の意思決定」をテーマに、市場の効率性、市場の失敗と政府の役割、公共計画における経済効率性と公平性、公共部門によって供給される財・サービスの性質と効率性、公共支出における意思決定プロセス、生産における政府の役割、環境問題における政府活動について基礎理論を学習します。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・「なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか」 公共経済学は、経済学のコア科目であるミクロ経済学とマクロ経済学と関連しますが、本講義では、市場機構による資源配分をベースとして公共部門の役割を取り上げます。そのため、ミクロ経済学により近い内容となっています。また、政府活動を分析の対象とするため他の応用経済学の分野と何らかの関連を持ちますが、同様の理由から、産業組織論や環境経済学などと関連があります。 日常生活で公共部門と関わりを持たずに生活している人はいません。必ず何かしらの関係を持っています。例えば、私たちが普段利用している司法や警察、消防、国道、都道府県道、市町村道、上下水道、ごみ・し尿処理、公立の教育機関などのサービスは公共部門によって供給されています。それでは、公共部門は限られた希少な資源を使い、何を、誰のために、どのように意思決定を行い、供給しているのでしょうか。公共経済学の基礎理論を学習し、皆さんが利用している公共部門のサービスを考えるための力を身につけてほしいと思います。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 中間目標 「混合経済における公共部門」「厚生経済学の基礎」を学習し、市場の効率性、市場の失敗と政府の役割、公共計画における経済効率性と公平性を考えるための基礎理論を習得してほしいと思います。 最終目標 「公共支出の理論」を学習し、公共部門によって供給される財・サービスの性質と効率性、公共支出における意思決定プロセス、生産における政府の役割、環境問題における政府活動を考えるための基礎理論を習得してほしいと思います。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 ・講義内容で重要な箇所は波線を引く・円や四角で囲むなど強調するようにします。		
〔教科書〕 スティグリッツ, J.E 著、藪下史郎訳『スティグリッツ 公共経済学 (第2版) 上 公共部門・公共支出』東洋経済新報社、2003 年。		
〔指定図書〕 常木淳著『新経済学ライブラリ8 公共経済学 第2版』新世社、2002年。 林正義・小川光・別所俊一郎著『公共経済学』有斐閣、2010 年。		

〔参考書〕 板谷淳一・佐野博之著『コア・テキスト 公共経済学』新世社、2013年。 土居丈朗著『入門 公共経済学 第2版』日本評論社、2018年。 Joseph E. Stiglitz, Jay K. Rosengard, 2015, “Economics of the Public Sector Fourth International Student Edition”, W.W. Norton Company	
〔前提科目〕 経済学基礎論、ミクロ経済学	
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 1. 試験期間中に試験を実施します。 2. 課題、小テストを実施します。小テストの日程と範囲はテスト実施の約1～2週間前の授業で連絡します。 3. 課題と小テスト、定期試験の結果を総合的に評価します。	
〔評価の基準及びスケール〕 A 80%以上、B 70%以上80%未満、C 60%以上70%未満、D 50%以上60%未満、F 50%未満	
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 これまでにミクロ経済学を履修した人は関連する単元を復習するようにしてください。まだ学習した経験がない人は、テキストを一度読むようにしてください。授業やテキストの内容でわからない箇所は質問してください。 授業スケジュールは次のとおりです。ただし、授業内容の理解度(小テストの結果等)によっては、スケジュールを変更することもあります。	
〔実務経歴〕 該当なし。	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): イントロダクション 混合経済における公共部門 内 容: 「政府の経済的役割」「政府とは何か、誰なのか」「公共経済学的な考え方」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第1章)など
第2回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(1) 市場の効率性 内 容: 「厚生経済学とパレート効率性」「経済効率性の分析」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第3章)、常木(第1章)、林・小川・別所(第2章)など
第3回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(1) 市場の効率性 内 容: 第2回講義の続き。「厚生経済学とパレート効率性」「経済効率性の分析」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第3章)、常木(第1章)、林・小川・別所(第2章)など
第4回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(1) 市場の効率性 内 容: 第3回講義の続き。「厚生経済学とパレート効率性」「経済効率性の分析」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第3章)、常木(第1章)、林・小川・別所(第2章)など
第5回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(1) 市場の効率性 内 容: 第4回講義の続き。「厚生経済学とパレート効率性」「経済効率性の分析」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第3章)、常木(第1章)、林・小川・別所(第2章)など

第6回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(2) 市場の失敗 内 容: 「市場の失敗と政府の役割」「所得再分配とメ리트財」「政府の役割についての二つの分析方法」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第4章)、常木(第1章)、林・小川・別所(第2章)など
第7回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(2) 市場の失敗 内 容: 第6回講義の続き。「市場の失敗と政府の役割」「所得再分配とメ리트財」「政府の役割についての二つの分析方法」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第4章)、常木(第1章)、林・小川・別所(第2章)など
第8回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(2) 市場の失敗 内 容: 第7回講義の続き。「市場の失敗と政府の役割」「所得再分配とメ리트財」「政府の役割についての二つの分析方法」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第4章)、常木(第1章)、林・小川・別所(第2章)など
第9回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(2) 市場の失敗 内 容: 第8回講義の続き。「市場の失敗と政府の役割」「所得再分配とメ리트財」「政府の役割についての二つの分析方法」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第4章)、常木(第1章)、林・小川・別所(第2章)など
第10回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(3) 効率と公平 内 容: 「効率と分配のトレードオフ」「社会選択の分析」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第5章)、常木(第7章)、林・小川・別所(第9章)など
第11回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(3) 効率と公平 内 容: 第10回講義の続き。「効率と分配のトレードオフ」「社会選択の分析」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第5章)、常木(第7章)、林・小川・別所(第9章)など
第12回	テーマ(何を学ぶか): 厚生経済学の基礎(3) 効率と公平 内 容: 第11回講義の続き。「効率と分配のトレードオフ」「社会選択の分析」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第5章)、常木(第7章)、林・小川・別所(第9章)など
第13回	テーマ(何を学ぶか): 公共支出の理論(1) 公共財と公的に供給される私的財 内 容: 「公共財」「公的に供給される私的財」「公共財のための効率性の条件」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第6章)、常木(第2章)、林・小川・別所(第5章)など
第14回	テーマ(何を学ぶか): 公共支出の理論(1) 公共財と公的に供給される私的財 内 容: 第13回講義の続き。「公共財」「公的に供給される私的財」「公共財のための効率性の条件」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第6章)、常木(第2章)、林・小川・別所(第5章)など
第15回	テーマ(何を学ぶか): 公共支出の理論(1) 公共財と公的に供給される私的財 内 容: 第14回講義の続き。「公共財」「公的に供給される私的財」「公共財のための効率性の条件」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第6章)、常木(第2章)、林・小川・別所(第5章)など
第16回	テーマ(何を学ぶか): 公共支出の理論(2) 公共選択 内 容: 「資源配分の公的メカニズム」「公共財水準を決定する代替的機構」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第7章)、常木(第2章)、林・小川・別所(第6章)など
第17回	テーマ(何を学ぶか): 公共支出の理論(2) 公共選択 内 容: 第16回講義の続き。「資源配分の公的メカニズム」「公共財水準を決定する代替的機構」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第7章)、常木(第2章)、林・小川・別所(第6章)など
第18回	テーマ(何を学ぶか): 公共支出の理論(2) 公共選択 内 容: 第17回講義の続き。「資源配分の公的メカニズム」「公共財水準を決定する代替的機構」を学習します。 教科書・指定図書: スティグリッツ(第7章)、常木(第2章)、林・小川・別所(第6章)など

第 19 回	テーマ(何を学ぶか)： 公共支出の理論(2) 公共選択 内 容： 第 18 回講義の続き。「資源配分の公的メカニズム」「公共財水準を決定する代替的機構」を学習します。 教科書・指定図書： スティグリッツ(第 7 章)、常木(第 2 章)、林・小川・別所(第 6 章)など
第 20 回	テーマ(何を学ぶか)： 公共支出の理論(3) 公的生産 内 容： 「自然独占」「価格規制」などを学習します。 教科書・指定図書： スティグリッツ(第 8 章)、常木(第 4 章)、林・小川・別所(第 3 章)など
第 21 回	テーマ(何を学ぶか)： 公共支出の理論(3) 公的生産 内 容： 第 20 回講義の続き。「自然独占」「価格規制」などを学習します。 教科書・指定図書： スティグリッツ(第 8 章)、常木(第 4 章)、林・小川・別所(第 3 章)など
第 22 回	テーマ(何を学ぶか)： 公共支出の理論(3) 公的生産 内 容： 第 21 回講義の続き。「自然独占」「価格規制」などを学習します。 教科書・指定図書： スティグリッツ(第 8 章)、常木(第 4 章)、林・小川・別所(第 3 章)など
第 23 回	テーマ(何を学ぶか)： 公共支出の理論(4) 外部性と環境問題 内 容： 「外部性の問題」「外部性の私的解決策」「外部性の公的解決策」を学習します。 教科書・指定図書： スティグリッツ(第 9 章)、常木(第 3 章)、林・小川・別所(第 4 章)など
第 24 回	テーマ(何を学ぶか)： 公共支出の理論(4) 外部性と環境問題 内 容： 第 23 回講義の続き。「外部性の問題」「外部性の私的解決策」「外部性の公的解決策」を学習します。 教科書・指定図書： スティグリッツ(第 9 章)、常木(第 3 章)、林・小川・別所(第 4 章)など
試 験	マーク式/記述式試験(予定)の実施。